



十字街会場

函館市地域交流まちづくりセンター

末広町4-19

9:00~21:00

※休館日 3/30

函館駅前会場

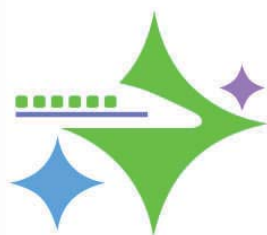
舶来居酒屋 杉の子

松風町8-5

(夜) 18:30~23:00 (日・月休み)

(昼) 11:00~14:00 (日・月のみ)

※期間中のみ屋カフェ営業
屋は閲覧のみでの入店も可



——新幹線を、 アートする。

さまざまな分野で活動する函館ゆかりの作家たちが
北海道新幹線への思いを形にします。

主催：hakodate+

<http://shinhakodate.com/>

お問合せ 080-3318-5466

後援：函館市、函館市教育委員会、NHK 函館放送局、NCV 函館放送局

函館山ロープウェイ（株）FM いるか、北海道新聞函館支社

函館新聞社、北海道旅客鉄道株式会社函館支社

はこだて十人十色トレイナレ

北海道新幹線の 百夜一話物語

“来る”をたのしむ

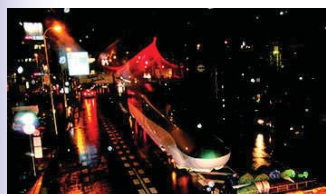
十字街会場

函館市地域交流まちづくりセンター

写真と動画でこれまでのこと

紀あさ 写真家・手回しオルガン奏者・はこだて観光大使

北海道新幹線の始まりへと向かう写真物語を 100 日前から 0 日前まで一日一話発表。
ハコダテ・トリエンナーレ（2012）に写真出展、写真集に「ギリヤーク尼ヶ崎への手紙」（2015）。
アートシーンでのオルガンの演奏は、二子玉川・ピエンナーレ（2014）、はこだて国際民俗芸術祭（2013-2015）など多数。

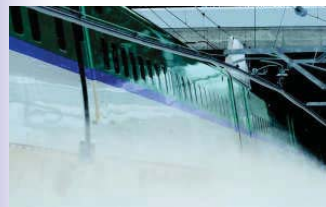


池井希代美

ギャラリー三日月を運営。H5 系の初の陸送を歩道橋から見つめた動画を公開予定。
同ギャラリーはハコダテ・トリエンナーレ（2009 / 2012）の会場でもあり、函館でのアート作品の生まれる場。

高岡 純司

鉄道に対する造詣が深く、2010 年の東北新幹線の新青森駅開通以降、北海道新幹線の開業に関連する写真を撮影してきた。
新幹線線路の陸揚げや、カウントダウンの様子を公開予定。



田村昌弘

撮影や執筆からコーディネートまで担う青函地域のオールラウンダー。
だいまん路地裏探偵団主宰。また世界料理学会・バル街など食分野での津軽海峡圏事業を担う。
冬を駆ける北海道新幹線を先取り撮影。さらに青函連絡船終航時の写真アーカイブも展示予定。

はこだて十人十色トレインナーレとは！？

2016 年 3 月 26 日、いよいよ北海道新幹線が函館までの開業日を迎えます。

1964 年 3 月 23 日に日本鉄道建設公団が青函トンネル調査事業所を函館市港町に設置、
同年 5 月に北海道側吉岡斜坑の掘削開始による青函トンネルの着工開始から数えて 52 年、
1946 年の地質調査開始から数えれば 70 年。

北海道に新幹線を…先人たちが見た夢が、半世紀以上の時を経て形になる時がやってきます。
長い時の流れの中で、この日この町に居合わせるということ。

トンネルの着工以前からの函館を知り、今なお、住人も旅人も訪れる 2 つの場所を会場に
函館ゆかりの、様々な分野の表現者たちが、その瞬間に寄せる思いを形にします。

“来た”をおもう

函館駅前会場

舶来居酒屋 杉の子

三色の十人十色

様々な形のこれからへの想い



石川潤 美術家

北海道新幹線の色へのオマージュ、H5系の3色による美術作品の制作予定
2016年3月VOCA展（上野の森美術館）に出展。道展会友。
函館では、ハコダテトリエンナーレ（2012）に出展
ほか美術展出演歴多数。

和泉志野 がま口作家

2012年よりがま口作家として活動開始。全国各地のハンドメイドイベントを軸に活動中。
がま口の箱庭の中に新幹線をモチーフにした世界が広がる。



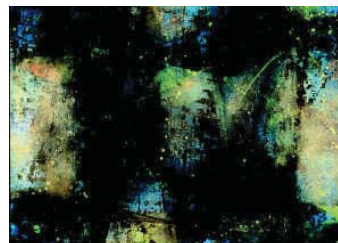
大野希 写真家

東京の静物写真スタジオ勤務後、独立。2015年夏から函館へ短期留学中。
ライフワークとして、ソフトフォーカスによる絵画的な海と街の風景を撮影している。
函館西部地区と函館山山頂からの夕景写真を展示予定。



加藤晶子 画家

抽象画・動物の油彩画を中心に活動。小さな絵画のアクセサリーも制作している。
JR五稜郭駅構内には加藤晶子の描いた、列車から見た線路の写実的な風景画が常設されている。
今回のテーマは新幹線カラーをそのまま1枚1枚絵にして、自分なりに函館の色を表現。



玉山知子 羊毛フェルト作家

2012年に十勝から道南に拠点を移し、作品制作や講師活動、イベントワークショップを行なう。
その他、蔦屋書店オープン時の巨大ツリー装飾など屋内外の空間演出を手掛けることも。
本展では北海道新幹線の色へのオマージュとなるフェルト作品を予定。

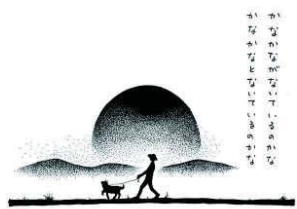
堂前邦子 陶芸家

愛知県瀬戸市で陶芸を学ぶ。現在、はこだて工芸舎の主宰をつとめる。
北海道新幹線の色へのオマージュ、H5系の色をモチーフとする作陶を予定。
手に触れて動かすことができる作品で、鑑賞者の作用によりその形が変わり続ける。



半澤孝平 詩人

えにわ・ちとせ情報紙の代表者を経て、2015年より函館新聞記者。
札幌（2008、2013）、恵庭（2008、2012）、小樽（2009）で詩展を開催。
かなを多用した詩風の特徴がある。

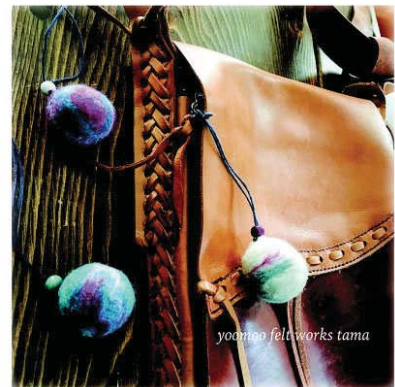


藤島斉 もの書き・編集人

北海道新聞で毎週「函館山花しるべ」を連載。FMいるか、NCVテレビでは自身のコーナーに毎月出演。
著書に「花しるべ～寝ても覚めても函館山」3部作がある。
新幹線にまつわる花のエピソードを紹介予定。



※全作品が本展向けの新作のため、予定と異なる作品になる場合もあります。



4 / 3 (日) 13:00 ~ 16:00

新幹線カラーで羊毛フェルトストラップ作り

北海道新幹線開業の記念に H5 系をイメージした色合いのストラップを手作りしましょう。

初めての方や小さなお子様でも楽しく作れます。

予約不要 材料費 500 円 講師：玉山知子

通常 15 分程度で完成します。時間内のお好きな時に会場に直接いらしてください。

ワークショップ

十字街会場

函館市地域交流まちづくりセンター

3 / 27 (日) 19:00 ~ 21:00

オープニングパーティ

函館駅前会場

舶来居酒屋 杉の子

多くの作家たちが在廊しています

トーク「新幹線に乗っちゃった」

作家による作品ひとこと解説 ほか

最初の週末を終えての杯をご一緒に・・・

予約不要 入場無料 飲食は個別オーダー

日曜ですが特別オープン。

お気軽にいらしてください。



杉の子では、新幹線イメージのカクテルも...



期間中の日曜・月曜は、杉の子初の屋カフェ営業 お屋は展示見学のみでの入店も可能です。